

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

玉野市立荘内中学校（岡山県）

## 【取組内容②】素粒子物理学講演会を対面&amp;オンラインで実施

## タイトル

## 素粒子物理学講演会を対面&amp;オンラインで実施

活用目的  
の概要

専門家を招聘しての講演会実施は生徒にとっては非常に有効な活動であり、積極的に実施すべきものではあるが、予算や日程調整等、課題は多い。それを解決する一つの手段がオンライン実施である。今回は、実施時間が限られる中で、対面講演時に質問の時間をゆっくり取れないという課題を、後日オンラインで質問タイムを取ることによって解決した。

使用アプリ：google form Meet

## 【活用概要】

- (1) 実施日： 対面：令和5年11月10日  
オンライン：令和5年11月13日
- (2) 実施学年： 1年生
- (3) 実施講演会  
「大きな宇宙のひみつとミクロな世界のひみつと加速器と」  
講師 小林 隆  
J-PARCセンター長。加速器を用いて人工的に生成したニュートリノを295km離れたスーパーカミオカンデに打ち込み、検出したニュートリノの性質を調べる研究に従事。主導する実験グループにより、ミュー型ニュートリノが電子型ニュートリノに変化することを発見し、2014年仁科記念賞受賞。
- (4) 実施内容の紹介（概要）  
対面での講演会を70分実施し、そこで疑問に思ったこと等をformで集約、内容を講師に送付した。オンラインでは質問事項について、講演の振り返りを交えながら話をいただいた。

